

化学療法計画書

ID				
氏名				
生年月日				
実施部署		発行日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m ²)
				1.50

指示医師:			
指導医師:			
投与開始予定日:	年	月	日
投与終了日:	年	月	日

病名	大腸癌
治療法	ロンサーフ+アバスチン併用療法

	1	3	
抗癌剤・商品名	アバスチン	ロンサーフ	
規格	100mg/4mL 400mg/16mL	15mg錠 20mg錠	
一般名	ベバシズマブ	トリフルリジン/チピラシル	
一日投与量(規定)	5mg/kg	70mg/m ²	
患者情報から算出した 一日投与量	250 mg	体表面積(m ²)	1日投与量
		<1.07	70mg/day
実際の投与量	200 mg	1.07-1.22	80mg/day
		1.23-1.37	90mg/day
		1.38-1.52	100mg/day
		1.53-1.68	110mg/day
		1.69-1.83	120mg/day
		1.84-1.98	130mg/day
		1.99-2.14	140mg/day
投与日	day1,15	2.15<	150mg/day
		day1-5,8-12	
1クール期間	28日間		
予定クール数			
検査スケジュール	原則的に投与日に化学療法施行前セット 検査データに応じて臨時に検査実施		

適応基準	進行・再発大腸癌
推奨 経口剤	○このレジメンは最小度催吐性リスク群です。静注、経口問わず制吐剤は不要です。
禁忌	1.本剤の成分に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者 2.妊婦又は妊娠している可能性のある婦人 3.喀血(2.5mL以上の鮮血の喀出)の既往のある患者
中止基準	投与前の好中球数:1000/mm ³ 未満、血小板数:50,000/mm ³ 未満 骨髄機能が回復するまでは投与延期 (CTCAE v4.0内のGrade3に準拠)
副作用	<p>●ロンサーフ</p> <p>重大 1.骨髄抑制 2.感染症 3.間質性肺疾患</p> <p>その他 (10%以上)下痢、悪心、嘔吐、食欲減退、疲労 (5~10%未満)口内炎、腹痛、便秘、発熱、無力症、血中ビリルビン増加、味覚異常、脱毛症 (5%未満)イレウス、腸炎、胃炎、浮腫、脱水、血中アルブミン減少、尿中蛋白陽性、心房細動、心房粗動、心筋虚血、頭痛、めまい、末梢性感覚障害、筋肉痛、皮疹/落屑、手足症候群、痒痒症、体重減少、血中ナトリウム減少、血中カリウム減少、インフルエンザ様症状、鼻出血、尿糖陽性、低血圧、結膜炎</p> <p>●アバスチン</p> <p>重大 1.ショック、アナフィラキシー 2.消化管穿孔 3.瘻孔 4.創傷治癒遅延 5.出血 6.血栓塞栓症 7.高血圧性脳症、高血圧性クリーゼ 8.可逆性後白質脳症症候群 9.ネフローゼ症候群 10.骨髄抑制 11.感染症 12.うっ血性心不全 13.間質性肺炎 14.血栓性微小血管症</p> <p>その他 (5%以上または頻度不明)神経毒性、食欲減退、悪心、口内炎、下痢、嘔吐、便秘、胃腸障害、尿蛋白陽性、肝機能異常、高血圧、上室性頻脈、脱毛症、発疹、皮膚変色、剥脱性皮膚炎、関節痛、肺高血圧症、眼障害、疲労・倦怠感、発熱、蜂巣炎、鼻中隔穿孔、卵巣機能不全、骨盤痛</p>
備考	

ロンスーフ+アバスチン併用療法 観察記録

所要時間: 初回90分 2回目60分
3回目以降30分

氏名: ID() 年齢: (才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬()	入外()
医師	指示医師: アバスチン (mg) 一般名(ベバシズマブ)		抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の薬剤の変更・追加
	<input type="checkbox"/> 延期・中止			投与開始時間 調剤 実施
投与指示	本体	側管		
	生食100mL		アバスチンが終わるまで維持	
	生食100mL+アバスチン		<input type="checkbox"/> 初回 90分かけて点滴【 ml/h】	
	総液量 mL		<input type="checkbox"/> 2回目 60分かけて点滴【 ml/h】 <input type="checkbox"/> 3回目以降 30分かけて点滴【 ml/h】	
本体終了後抜去				